

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第48週(令和7年11月24日～令和7年11月30日)

<発生動向>

第48週の定点あたりの報告数はインフルエンザで50.52と前週より増加し、警報レベルが続いています。また、市内の学校等からインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が39件あり、累計139件(昨年同時期累計55件)となりました。

インフルエンザは、発症した日の前日から発症後3～7日間は鼻やのどから排出されるといわれているため、インフルエンザにかかったら、その間は外出を控えましょう。また、周囲の人への感染を防ぐため、咳・くしゃみ等の症状がある時はマスクを着用するなど周囲の人へうつさないよう配慮しましょう。大人数で集まったりするときは、マスクの着用や定期的な換気など感染症対策の徹底をお願いします。詳細は別添をご覧ください。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	3	162	15	702	254	12,810
レジオネラ症	1	6	2	72	36	2,211
侵襲性肺炎球菌感染症	2	28	2	119	55	3,021
梅毒	1	108	7	694	123	12,352
百日咳	4	415	19	3,169	508	86,831

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	10	0.43	0.61	76	0.62	6,302	1.64
インフルエンザ	1,162	50.52	46.30	5,962	48.87	196,895	51.12
急性呼吸器感染症	2,635	114.57	122.57	10,452	85.67	396,446	103.38
RSウイルス感染症	7	0.54	0.46	45	0.64	1,699	0.73
咽頭結膜熱	6	0.46	0.77	40	0.57	665	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	2.00	3.23	297	4.24	5,565	2.38
感染性胃腸炎	91	7.00	7.31	294	4.20	9,394	4.01
水痘	4	0.31	0.15	27	0.39	710	0.30
手足口病	7	0.54	0.62	38	0.54	286	0.12
伝染性紅斑	21	1.62	1.85	64	0.91	1,523	0.65
突発性発しん	5	0.38	0.08	23	0.33	514	0.22
ヘルパンギーナ	1	0.08	0.15	6	0.09	135	0.06
流行性耳下腺炎	0	0.00	0.00	1	0.01	88	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	5	0.01
流行性角結膜炎	7	1.17	0.50	44	1.69	529	0.76
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	4	2.00	1.50	10	0.67	625	1.30
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	1	0.07	2	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	4	0.01

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。

注意 情報

令和7(2025)年12月4日

《インフルエンザ 警報 発令中!》

令和7年第47週(11月17日～11月23日)の定点医療機関あたりの患者報告数が、従前の警報レベルの開始基準値である「30」を超え、第48週(11月24日～11月30日)の報告数がさらに増えています。今後、インフルエンザの流行が続く可能性があります。

インフルエンザに「かからない」、かかっても他の人に「うつさないよう」心がけましょう。

インフルエンザ患者の定点あたりの報告数

	44週 10/27～11/2	45週 11/3～11/9	46週 11/10～11/16	47週 11/17～11/23	48週 11/24～11/30
北九州市	8.61	15.17 (注意報)	25.87 (注意報)	46.30 (警報)	50.52 (警報)
福岡県	8.47	12.80	20.89	32.70	48.87
全 国	14.90	21.82	37.73	51.12	集計中

※ 定点当たりの報告数とは、定点医療機関(北九州市では23医療機関)での1週間ごとの報告数を定点医療機関数で割った値です。令和7年4月7日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた「注意報」および「警報」の基準値を参考に運用にしています。

➤ 感染経路

飛沫感染



感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫と一緒に放出されたインフルエンザウイルスを口や鼻から吸いこみ感染

接触感染



(イラスト出典:政府広報オンライン)

インフルエンザウイルスが付着したドアノブ等を触れた手で、鼻や口、目などを触って感染

➤ 感染防止のポイント

こまめな 手洗い



バランスの 良い食事



湿度
(50～60%)
に保つ

体調を整える 適度な 運動



- 外出時は、なるべく人混みを避けましょう。
- 高齢者、基礎疾患のある方などは感染すると、重症化するリスクが高いため、大人数で集まったりするときは、マスクの着用など感染症対策の徹底をお願いします。

北九州市内で流行中! インフルエンザを予防しよう!

ていたん・ブラックていたんからのお願い

- おねがい 1 手洗いをしよう!
- おねがい 2 マスクをしよう!
- おねがい 3 しっかり休養しよう!
- おねがい 4 症状が出たら、早めに病院へ行こう!



手洗い&マスクで
冬も元気に過ごそう!

© Sakurabach school City of Kitakyushu
北九州市環境マスコットキャラクター
“ていたん” “ブラックていたん”